

2019 年度

特定非営利活動法人  
みえ防災市民会議

総 会 議 案 書



日時： 2019 年 6 月 8 日（土） 10:00～12:00

場所： みえ県民交流センター 交流スペース テーブル 7,8

【議事進行】

議長あいさつ

総会議長選出

総会成立報告

議事録署名人選出

第1号議案

2018年度事業報告(案)

2018年度決算(案)

監査報告

第2号議案

2019・20年度役員選出

第3号議案

2019年度事業計画(案)

2019年度予算(案)

報告事項

総会議長解任

閉会

# 2018 年度事業報告(案)

(2018 年 4 月 1 日～2019 年 3 月 31 日)

特定非営利活動法人みえ防災市民会議

## 1 事業の成果

○平成 30 年 7 月豪雨災害に伴い設置された「みえ災害ボランティア支援センター」の幹事団体として法人議長がセンター長に就任、支援活動を開始。広島県呉市を支援先に決定し、全 10 便のボランティアバスを運行した。事業実施に当たってはセンター事務局機能の一端を担うとともに、参加いただいたボランティア述べ 273 名と一体となって現地で被災者支援活動を実施した。

○2018 年度に3つの事業の柱として掲げた活動

- (1)災害時に支援に駆けつける NPO・ボランティア団体と被災者・被災地を繋ぐことができるコーディネーターの育成に取り組む《災害ボランティア協働コーディネーター講座(仮称)》
- (2)防災意識を持ったさまざまな団体と日頃から協働事業を行って、災害時に活かせるネットワークを構築していく
- (3)上記2つの実現のため、会員に向けた取り組みを強化して、事業への参加促進や会員同士のつながりを深める

については、6月に発生した大阪北部地震や、7月の豪雨災害への対応が活動の中心にならざるを得なかったため、会員を対象とした本格的な活動の展開には至らなかったが、みえ災害ボランティア支援センターとの連携により、みえ発ボラパック広島行きふりかえり会や協働プラットフォーム研修会を開催し、災害時に NPO・ボランティア団体や企業、行政が被災者・避難者とつながる仕組みについて、大阪北部地震や西日本豪雨の実践から学ぶ機会を提供した。

○内外への広報・情報発信の充実につとめ、現会員の知識・スキルの一定の向上は図られた。残念ながら新たな会員の獲得、拡大には繋がらなかったが、会員同士、会員の地元市町や三重県、市町社協や県社協、他の NPO・ボランティア団体、県外団体との連携強化につとめ、大規模災害に備えた人材育成やネットワークづくりを推進した。

## 2 事業の実施に関する事項

- (1) 特定非営利活動に係る事業  
次ページ以下のとおり。

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
防災意識の普及啓発・市民防災力向上に関する事業	<b>1.行政、社会福祉協議会等が実施する防災講座へ講師を派遣する</b>					
	(1)災害ボランティアコーディネーター養成講座	7/20	熊野市文化交流センター	1名	30名	386
	(2)岐阜県健康福祉部管理職研修	7/11	岐阜県庁	1名	40名	
	(3)伊賀市災害ボランティアコーディネーター講座	7/21	いがまち保健福祉センター	1名	40名	
	(4)三重県労協災害ボランティア講座	8/18	三重県勤労者福祉会館	1名	40名	
	(5)桑名市社協災害ボランティアコーディネーター養成講座	7/24	桑名市社会福祉協議会	1名	20名	
	(6)三重県労協災害ボランティア講座	9/1	三重県勤労者福祉会館	1名	40名	
	(7)桑名市社協災害ボランティアコーディネーター養成講座	9/25	桑名市社会福祉協議会	1名	20名	
	(8)伊勢志摩圏域ボランティアセンター合同研修会	11/11	伊勢市防災センター	1名	50名	
	(9)菰野町社協災害ボランティアセンター訓練	2/8 12/14	保健福祉センターけやき	1名	5名	
	(10)四日市市自主防災組織研修会	2/9	四日市市消防本部	1名	40名	
	(11)大台町社協災害ボランティアコーディネーター講座	3/20	大台町健康ふれあい会	1名	30名	
	(12)災害ボランティアコーディネーター養成講座	10/6	尾鷲市福祉保健センター	1名	20名	
	(13)羽津地区まち協防災講座	7/21	羽津地区市民センター	1名	20名	
	(14)さきもり集中セミナー	8/4	環境情報科学館	1名	50名	
	(15)防災コーディネーター養成講座	8/19	三重大学講堂	1名	50名	
<b>2.県内地域の防災活動に対する支援を実施する</b>						
東日本大震災広域避難者支援のための三重県内ネットワーク「311みえネット」の設置・運営に対する協力	通年	県内	1~2名	-		

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
防災ボランティアコーディネーター養成に関する事業	1.「災害ボランティア協働コーディネーター講座(仮称)」を実施し、防災人材の育成をする					
	(1)みえ発！ボラパック広島行きふりかえり会	12/15	津市	4	38	117
	(2)三重県広域受援計画・ボランティア受入みえ県域/地域協働プラットフォーム研修会	1/21	津市	4	46	
	2-1)みえ災害ボランティア支援センター幹事団体向け勉強会を開催する					
	支援センターの責務とマニュアルの理解について勉強会を実施	4月	津市	2~3名	支援センター幹事会	0
	2-2)MVSC幹事団体、伊賀市災害VCとして受援体制整備に向けた活動実験に参加する					
	・「三重県受援体制整備に向けた活動実験」へ「みえ災害ボランティア支援センター」幹事団体として参加 ・実験終了後、自主事業として勉強会を実施	5/20	四日市市菰野町	10名	会員、行政、社協、防災関係機関等約300名	0
防災活動に取り組む団体・個人との連携や支援に関する事業	1.会員向け、県民向けの情報提供を行い、情報の共有化を図る					
	広報誌の作成(14号)法人会員に郵送配布	7月	県内	3名	正会員・賛助会員86名	8
	ホームページ <a href="http://www.v-bosaimie.jp/mcdp/">http://www.v-bosaimie.jp/mcdp/</a> による発信	通年	国内外	2~3名	会員 県民	
	2.県外地域との交流・連携を推進する					
	JVOAD 全国フォーラムへの参加	6/12 6/13	都内	3名		116
	大阪災害支援ネットワーク会議への参画	通年	大阪市	1名		
	静岡県災害ボランティア図上訓練への参加	2/23 2/24	静岡市	4名		
3.災害時の取り組みに関心がある他分野のNPO等との協働事業を実施する						
—	—	—	—	—	—	

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額 (千円)
防災にかかわる調査、研究及び政策提言に関する事業	1.災害時に県等関係機関と協働で立ち上げるみえ災害ボランティア支援センターのあり方を検討する					
	みえ災害ボランティア支援センター幹事会	月1回	アスト津	2~3名		
	2.災害時の受援体制整備に向けた取り組みに協力する					
	「県/現地協働プラットフォーム」の普及・推進のために三重県(NPO班)が取り組む事業への協力	通年	県内	2~3名		
	3.災害時に市町等関係機関と協働で立ち上げる現地災害ボランティアセンターのあり方の検討					
	伊賀市災害ボランティアセンター運営会議	月1回	伊賀市内	2~3名		
被災者の自立を支援する事業	県内や近隣府県で災害が発生した場合、すみやかに支援活動に取り組む					
	平成30年7月豪雨災害に伴い設置された「みえ災害ボランティア支援センター」の幹事団体として運営及び支援事業(広島県呉市へのボランティアバス運行)に参画	7/9 ~ 1/31	広島県呉市及び三重県内	約20名	(参加ボランティア)のべ273名	
その他事業	NSL 参加	通年	名古屋市 内	1名		
	三重県ボランティアセンター運営委員	6/11 2/26	津市内	1名		
	志摩市防災会議委員	3月	志摩市内	1名		

**2018年度 活動計算書(案)**  
2018年4月1日から2019年3月31日まで

特定非営利活動法人みえ防災市民会議

科目	2018年度 活動予算書	金額(円)		備考
<b>I 経常収益</b>				
<b>1. 受取会費</b>				
①正会員受取会費	234,000	225,000		3,000円×75人 5,000円×1人
②賛助会員受取会費	5,000	5,000	230,000	
<b>2. 受取寄付金</b>				
①受取寄付金	39,960	638,000		三重県信連浜木綿会
<b>3. 受取助成金等</b>				
①受取民間助成金	0	0		
<b>4. 事業収益</b>				
①事業収益	860,000	740,073		講師派遣
<b>5. その他収益</b>				
①受取利息	40	39		
②雑収益	0	0	1,378,112	
<b>経常収益計</b>	1,139,000			1,608,112
<b>II 経常費用</b>				
<b>1. 事業費</b>				
<b>(1) 人件費</b>				
給料手当	0	0		
法定福利費	0	0		
福利厚生費	0	0		
<b>人件費計</b>	0	0		
<b>(2) その他経費</b>				
会議費	0	0		
旅費交通費	924,800	158,470		講師派遣、県外交流
消耗品費	200,000	0		
賃借料	19,526	4,978		サーバー代
通信費	5,000	0		
印刷費	40,000	3,090		広報紙印刷
保険料	0	0		
講師謝金	508,000	458,406		講師派遣、C講座
備品購入費	0	0		
雑費	233,000	2,376		振込手数料
<b>その他経費計</b>	1,930,326	627,320		
<b>事業費計</b>	1,930,326		627,320	
<b>2. 管理費</b>				
<b>(1) (管理) 人件費</b>				
(管理) 役員報酬	0	0		
(管理) 給料手当	28,800	0		
(管理) 法定福利費	0	0		
(管理) 福利厚生費	0	0		
<b>(管理) 人件費計</b>	28,800	0		
<b>(2) (管理) その他経費</b>				
(管理) 会議費	5,000	0		
(管理) 旅費交通費	0	0		
(管理) 消耗品費	10,000	5,440		インクカートリッジ
(管理) 賃借料	12,960	15,480		事務所家賃
(管理) 通信費	80,000	63,942		携帯電話・宅配・FAX
(管理) 印刷費	20,000	29,670		総会資料印刷
(管理) 保険料	0	0		
(管理) 講師謝金	0	0		
(管理) 備品購入費	50,000	52,980		プロジェクター購入
(管理) 雑費	2,000	1,080		振込手数料
<b>(管理) その他経費計</b>	179,960	168,592		
<b>管理費計</b>	208,760		168,592	
<b>経常費用計</b>	2,139,086			795,912
<b>当期経常増減額</b>	-1,000,086			812,200
<b>III 経常外収益</b>				
<b>1. 雑収益</b>	0	3,000	3,000	
<b>経常外収益計</b>	0			3,000
<b>IV 経常外費用</b>				
<b>1. 雑損益</b>	30,000	30,000	30,000	資格喪失11人
<b>経常外費用計</b>	30,000			30,000
<b>当期正味財産増減額</b>	-1,030,086			785,200
<b>前期繰越正味財産額</b>	5,126,998			5,126,998
<b>次期繰越正味財産額</b>	4,096,912			5,912,198

## 2018年度 貸借対照表(案)

2019年3月31日

特定非営利活動法人みえ防災市民会議

科目	金額(単位:円)		備考
<b>I 資産の部</b>			
<b>1. 流動資産</b>			
<b>(1) 現金預金</b>			
現金	76,525		
普通預金	4,990,400		
普通預金(災害)	506,825		
郵貯	276,000		
<b>(2) 未収金</b>			
未収金	0		
未収会費	108,000		
<b>流動資産合計</b>		5,957,750	
<b>2. 固定資産</b>			
(1)有形固定資産			
(2)無形固定資産			
(3)投資その他の試算			
<b>固定資産合計</b>		0	
<b>資産合計</b>		5,957,750	
<b>II 負債の部</b>			
<b>1. 流動負債</b>			
未払金	0		
前受会費	9,000		
預り金	36,552		
<b>流動負債合計</b>		45,552	
<b>2. 固定負債</b>			
長期前受会費	0		
<b>固定負債合計</b>		0	
<b>負債合計</b>		45,552	
<b>III 正味財産の部</b>			
前期繰越正味財産	5,126,998		
当期正味財産増減額	785,200		
<b>正味財産合計</b>		5,912,198	
<b>負債及び正味財産合計</b>		5,957,750	

2019年度会費3名  
所得税



## 2018年度 特定非営利活動に係る事業会計財産目録(案)

2019年3月31日

特定非営利活動法人 みえ防災市民会議

単位円

項目	金額	
<b>I 資産の部</b>		
<b>1 流動資産</b>		
現金・預金		
(1)現金 手元現金	76,525	
(2)預金 普通預金 百五銀行宮川支店	4,990,400	
普通預金 百五銀行宮川支店	506,825	
振替貯金 ㈱ゆうちょ銀行	276,000	
	5,849,750	
<b>未収金</b>		
未収会費	108,000	
未収金	0	
	108,000	
<b>流動資産合計</b>		5,957,750
<b>2 固定資産</b>		
(1)有形固定資産	0	
(2)無形固定資産	0	
(3)投資その他の資産	0	
	0	
<b>固定資産合計</b>		0
<b>資産合計</b>		5,957,750
<b>II 負債の部</b>		
<b>1 流動負債</b>		
未払金	0	
前受会費	9,000	
預り金	36,552	
<b>流動負債合計</b>		45,552
<b>II 固定負債</b>		
長期前受金	0	
<b>固定負債合計</b>		0
<b>負債合計</b>		45,552
<b>正味財産</b>		5,912,198

## 計算書類の注記

### 1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正NPO法人会計基準協議会)によっています。

#### (1) 資金の範囲

資金の範囲には、現金・預金、未収会費、未収金、前受会費、長期前受会費を含むこととしています。前期末及び当期末残高は次の3のとおりです。。

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

什器備品は当期対象物が存在しないため計算していません。

#### (3) 消費税の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

### 2. 事業別損益の状況

別紙のとおり

### 3. 次期繰越収支差額の内容

単位円

科目	前期末残高	当期末残高
現金・預金	5,201,348	5,849,750
未収会費	75,000	108,000
未収入金	0	0
合計	5,276,348	5,957,750
未払金	110,620	0
前受会費	3,000	9,000
預り金	35,730	36,552
長期前受金	0	0
合計	149,350	45,552
次期繰越収支差額	5,126,998	5,912,198

2. 事業別損益の状況

事業名 勘定科目	①防災意識の普及啓発・市民防 災力向上に関する事業		②防災ボランティアコーディネーター養成に関する事業			③防災活動に取り組む団体・個人との連携や支援に 関する事業			④防災にかかわる調査、研究及び政策提言に関す る事業			⑤被災者の自立 を支援する事業		管理部門	合計
	1)県内外への防 災講座への講師 派遣事業	2)県内各地の防 災活動への支援 事業 (※1)	1)災害ボランテ ア協働コーデ ィネーター講座事 業 (※2)	2)みえ災害ボランテ ィア支援セン ター幹事団体事業  MVSC幹事団体 向け勉強会	受援体制整備に 向けた活動実験 参加 (※3)	1)会員向け、県 民向け情報提供 事業 (※4)	2)県外地域との 交流・連携事業 (※5)	3)地分野NPOと の協働事業(※ 6)	1)みえ災害ボラ ンティア支援セン ターのあり方検 討事業	2)災害時の受援 体制整備に向け た取組協力事業 (※7)	3)市町現地災害 ボランティアセン ターのあり方検 討事業	1)近隣・地元で の災害における 支援事業			
<b>I 経常収益</b>															
<b>1. 受取会費</b>															
①正会員受取会費														225,000	225,000
②賛助会員受取会費														5,000	5,000
<b>2. 受取寄付金</b>															
①受取寄付金														638,000	638,000
<b>3. 受取助成金等</b>															
①受取民間助成金															0
<b>4. 事業収益</b>															
①事業収益	740,073														740,073
<b>5. その他収益</b>															
①受取利息														39	39
②雑収益															0
<b>経常収益計</b>	740,073	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	868,039	1,608,112	
<b>II 経常費用</b>															
<b>1. 事業費</b>															
<b>(1) 人件費</b>															
給料手当															
法定福利費															
福利厚生費															
<b>人件費計</b>															
<b>(2) その他経費</b>															
会議費															0
旅費交通費	42,270						116,200								158,470
消耗品費													5,440	5,440	
賃借料						4,978							15,480	20,458	
通信費													63,942	63,942	
印刷費						3,090							29,670	32,760	
保険料															0
講師謝金	342,046		116,360												458,406
備品購入費														52,980	52,980
雑費	1,296		864		0					0		0	216	1,080	3,456
<b>その他経費計</b>	385,612	0	117,224	0	0	8,068	116,200	0	0	0	0	216	168,592	795,912	
<b>経常費用計</b>	385,612	0	117,224	0	0	8,068	116,200	0	0	0	0	216	168,592	795,912	
<b>当期経常増減額</b>	354,461	0	-117,224	0	0	-8,068	-116,200	0	0	0	0	-216	699,447	812,200	

## 監査報告書

特定非営利活動法人 みえ防災市民会議の2018年度(2018年4月1日より2019年3月31日迄)の事業報告並びに活動計算書、貸借対照表及び財産目録を監査しました。

監査の結果、事業は適正に執行され、活動計算書、貸借対照表及び、財産目録は、同日をもって終了する事業年度の収支の状況並びに、2019年3月31日現在の財産の状況を適正に表示していると認めます。

2019年6月5日

特定非営利活動法人 みえ防災市民会議

監事 伊佐 彰 代

監事 平野 昌

精算表

勘定科目	合計残高試算表		活動計算書		正味財産増減計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
<b>I 資産の部</b>								
<b>1. 流動資産</b>								
5101 現金	76,525	0					76,525	0
5102 普通預金	4,990,400	0					4,990,400	0
5103 普通預金(災害)	506,825	0					506,825	0
5104 郵貯	276,000	0					276,000	0
5105 未収金	0	0					0	0
5106 未収会費	108,000	0					108,000	0
<b>2. 固定資産</b>								
(1)有形固定資産								
(2)無形固定資産								
(3)投資その他の試算								
<b>II 負債の部</b>								
<b>1. 流動負債</b>								
6101 未払金	0	0					0	0
6102 前受会費	0	9,000					0	9,000
6103 預り金	0	36,552					0	36,552
<b>2. 固定負債</b>								
6201 長期前受会費	0	0					0	0
<b>I 経常収益</b>								
<b>1. 受取会費</b>								
1101 ①正会員受取会費	0	225,000	0	225,000				
1102 ②賛助会員受取会費	0	5,000	0	5,000				
<b>2. 受取寄付金</b>								
1201 ①受取寄付金	0	638,000	0	638,000				
<b>3. 受取助成金等</b>								
1301 ①受取民間助成金	0	0	0	0				
<b>4. 事業収益</b>								
1401 ①事業収益	0	740,073	0	740,073				
<b>5. その他収益</b>								
1501 ①受取利息	0	39	0	39				
1502 ②雑収益	0	0	0	0				
<b>II 経常費用</b>								
<b>1. 事業費</b>								
(1)人件費								
2111 給料手当	0	0	0	0				
2112 法定福利費	0	0	0	0				
2113 福利厚生費	0	0	0	0				
(2)その他経費								
2121 会議費	0	0	0	0				
2122 旅費交通費	158,470	0	158,470	0				
2123 消耗品費	0	0	0	0				
2124 賃借料	4,978	0	4,978	0				
2125 通信費	0	0	0	0				
2126 印刷費	3,090	0	3,090	0				
2127 保険料	0	0	0	0				
2128 講師謝金	458,406	0	458,406	0				
2129 備品購入費	0	0	0	0				
2130 雑費	2,376	0	2,376	0				
<b>2. 管理費</b>								
(1)(管理)人件費								
2211 (管理)役員報酬	0	0	0	0				
2212 (管理)給料手当	0	0	0	0				
2213 (管理)法定福利費	0	0	0	0				
2214 (管理)福利厚生費	0	0	0	0				
(2)(管理)その他経費								
2221 (管理)会議費	0	0	0	0				
2222 (管理)旅費交通費	0	0	0	0				
2223 (管理)消耗品費	5,440	0	5,440	0				
2224 (管理)賃借料	15,480	0	15,480	0				
2225 (管理)通信費	63,942	0	63,942	0				
2226 (管理)印刷費	29,670	0	29,670	0				
2227 (管理)保険料	0	0	0	0				
2228 (管理)講師謝金	0	0	0	0				
2229 (管理)備品購入費	52,980	0	52,980	0				
2230 (管理)雑費	1,080	0	1,080	0				
<b>III 経常外収益</b>								
3100 1. 雑収益	0	3,000	0	3,000				
<b>IV 経常外費用</b>								
4100 1. 雑損益	30,000	0	30,000	0				
当期収入・支出合計			825,912	1,611,112				
当期収支差額			785,200			785,200		
前期繰越収支差額	0	5,126,998					0	5,126,998
当期正味財産増加額					785,200			785,200
合計	6,783,662	6,783,662	1,611,112	1,611,112	785,200	785,200	5,957,750	5,957,750

<第2号議案>

2019—2020 年度役員選出

現時点での理事・監事は以下のとおり。(任期:2017年5月28日~2019年3月31日)

理事 山本 康史 (議長)  
理事 中村 伊英 (副議長)  
理事 水上 知之  
理事 林 春男  
監事 平野 昌  
伊佐 彰代

—————定款 関連部抜粋—————

第4章 役員

(種別及び定数)

第13条 この法人に、次の役員を置く。

- (1) 理事 4人以上10人以内
  - (2) 監事 1人または2人
- 2 理事のうち1人を議長とし、3人以内を副議長とする。

(選任等)

第14条 理事及び監事は、総会において選任する。

- 2 議長及び副議長は、理事の互選とする。
- 3 役員のうちには、それぞれの役員について、その配偶者若しくは3親等以内の親族が1人を超えて含まれ、又は当該役員並びにその配偶者及び3親等以内の親族が役員の総数の3分の1を超えて含まれることになってはならない。
- 4 監事は、理事又はこの法人の職員を兼ねることができない。

(任期等)

第16条 役員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 前項の規定にかかわらず、後任の役員が選任されていない場合には、任期の末日後最初の総会が終結するまでその任期を伸長する。
- 3 補欠のため、又は増員によって就任した役員の任期は、それぞれの前任者又は現任者の任期の残存期間とする。
- 4 役員は、辞任又は任期満了後においても、後任者が就任するまでは、その職務を行わなければならない。

—————定款 関連部抜粋終わり—————

<第2号議案>

特定非営利活動法人みえ防災市民会議

2019-2020 年度役員 事務局案

理事・議長	山本 康史	(留任)
理事・副議長	中村 伊英	(留任)
理事	水上 知之	(留任)
理事	林 春男	(留任)
監事	平野 昌	(留任)
監事	伊佐 彰代	(留任)

任期 2019年6月8日～2021年3月31日

<第3号議案>

2019 年度事業計画書(案)

(2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日)

特定非営利活動法人みえ防災市民会議

1 事業実施の方針

当法人は 2008 年の法人化から 10 年が経ち、2018 年に次の3つを「次の 10 年」(2018～2027 年度)の事業の柱として活動を推進することにしました。

- (1) 災害時に支援に駆けつけるNPO・ボランティア団体と被災者・被災地を繋ぐことができるコーディネーターの養成に取り組みます
- (2) 防災意識を持ったさまざまな団体と日頃から協働事業を行って、災害時に活かせるネットワークを構築していきます
- (3) 上記 2 つを実現するために、会員に向けた取り組みを強化して、事業への参加促進や会員同士のつながりを深めます

その初年度である 2018 年度は大阪北部地震や西日本を中心とした豪雨災害など全国各地で災害が多発し、みえ災害ボランティア支援センターの幹事団体として被災者支援活動が中心となりましたが、本年は改めて「次の 10 年」3つの柱を推進するための取り組みを行うと共に、会員一人ひとりが積極的に防災に取り組む環境づくりに取り組みます。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定 日時	実施予定 場所	従事者の 予定人数	受益者の 範囲及び 予定人数	支出 見込額 (千円)
①防災意識の普及啓発・市民防災力向上に関する事業	1)行政、社会福祉協議会等が実施する防災講座へ講師を派遣する。	通年	県内外 16ヶ所	のべ 36名	県民 400名	403
	2)県内地域の防災活動の支援を実施する。(311みえネット)(※1)	通年	県内	2名	県民 全般	
②防災ボランティアコーディネーター養成に関する事業	1)「災害ボランティア協働コーディネーター講座(仮称)(※2)」を実施し、防災人材の育成をする。	通年	県内 4回	のべ 20名	のべ60名 (学生 20名)	288
	2)みえ災害ボランティア支援センター幹事団体向け勉強会を開催する。	4月	津市	2名	支援センター 幹事会	
③防災活動に取り組む団体・個人との連携や支援に関する事業	1)会員向け、県民向けの情報提供を行い、情報の共有化を図る(※3) (広報紙・ホームページ等の作成)	年4回	県内	10名	会員 県民	397
	2)県外地域との交流・連携(※4)を推進する	通年	東京都 静岡県 大阪市	2名 2名 2名(D)	県民	
	3)災害時の取り組みに関心がある他分野の NPO 等との協働事業を実施する(※5)	通年	3団体	のべ 30名	NPO 等 会員 県民	
	4)会員同士の情報交流が促進されるような環境を作るために ICT を活用した仕組みを検討する(※6)	通年	県内	2名	会員	



事業名	事業内容	実施予定 日時	実施予定 場所	従事者の 予定人数	受益者の 範囲及び 予定人数	支出 見込額 (千円)
③ 防災活動に 取り組む団体・ 個人との連携 や支援に關す る事業	5)災害時に市町等関係機関と協働 で立ち上げる現地災害ボランティア センターの構成団体として活動 する (常設型伊賀市災害VC 他)	通年	伊賀市	のべ 20名 (D)	県民	
④ 防災にかか わる調査、研 究及び政策提 言に關する事 業	1)災害時に県等関係機関と協働で 立ち上げるみえ災害ボランティア 支援センターのあり方を検討する。 (支援センター幹事団体として参 画)	通年	津市	のべ 32名	支援センタ ー幹事会	638 (三重信連 浜木綿会 寄付金)
	2)みえ県域協働プラットフォームの 構築に向けた連携団体について 調査・検討する。 (支援センター幹事団体として参 画)	通年	県内	のべ 10名	支援センタ ー幹事会 県民	
	3)市町域協働プラットフォームの構 築に向けた連携団体について調 査・検討し、一員として参画する。 (四日市NPOサポーターズ(※7) 他)	通年	四日市 (A) 他	のべ 10名	NPO等 県民	
⑤ 被災者の自 立を支援する 事業	県内や近隣府県で災害が発生し た場合、すみやかに支援活動に取 り組む。	通年	三重県 近隣府県	のべ 100名	被災地の 住民	1,000

※1 東日本大震災支援 311 みえネット の活動支援

東日本大震災で広域避難している方々を支援する三重県内の官民協働ネットワーク「311みえネット」の活動が継続・充実して行えるように支援を行う。具体的には会の運営協力、会議進行、イベント当日の協力等を行う。

※2 災害ボランティア協働コーディネーター講座

三重県が定めた「広域受援計画」で謳う「県域/現地協働プラットフォーム」の担い手になれる人材を育てる講座。災害時に行政/社協/NPO・NGO・ボランティア団体/職能団体/地域組織/被災者などの間をつなぎ、お互いの情報を交流したり補い合いを促進する場を設置したり運用をサポートするために必要なことを学ぶ

※3 会員向け、県民向けの情報提供を行い、情報の共有化を図る

「次の10年」に向けて定めた「会員の参加促進」や「会員同士のつながり深化」のため、会員への情報発信を強化する。また、現在管理しているみえ災害ボランティア支援センターのホームページのリニューアルも実施する。

※4 県外地域との交流・連携

静岡での図上訓練、大阪府でのネットワーク会議への参加に加え、東京で開催されるJVOADの全国フォーラムに参加して県外団体との連携を強化する。

※5 災害時の取り組みに関心がある他分野のNPO等との協働事業

「次の10年」の大きな柱となる事業。他分野で活動する団体と協働して、相手の分野に関する災害時のボランティア活動を学ぶ事業を実施する。

※6 会員同士の情報交流が促進されるような環境を作るためにICTを活用した仕組みを検討する(新規事業)  
みえ防災市民会議会員が各地で取り組んでいる防災活動やネットワーク構築活動の取り組みが会員同士の間で共有することにより相互の活動の刺激をしあえるような場を ICT 等を活用して構築していくためにどのような事ができるか、会員へのアンケートや先行事例の検討を行う。

※7 四日市NPOサポーターズ

四日市市で立ち上がった多様な分野の NPO・ボランティア等による災害時に備えたネットワーク組織。みえ防災市民会議も会員団体として登録し、平常時の連携を進めていく。

これと同様に他の地域でも市町域での連携の場には各地域会員が窓口となり、積極的に関わっていく。

## 2019年度 活動予算書

2019年4月1日から2020年3月31日まで

特定非営利活動法人みえ防災市民会議

科目	2018年度 活動計算書	金額(円)	金額(円)	備考
<b>I 経常収益</b>				
<b>1. 受取会費</b>				
①正会員受取会費	225,000	231,000	236,000	77名×3,000円 1名×5,000円
②賛助会員受取会費	5,000	5,000		
<b>2. 受取寄付金</b>				
①受取寄付金	638,000	0		
<b>3. 受取助成金等</b>				
①受取民間助成金	0	0		
<b>4. 事業収益</b>				
①事業収益	740,073	830,000		講師派遣・参加費
<b>5. その他収益</b>				
①受取利息	39	40	830,040	
②雑収益	0	0		
<b>経常収益計</b>			1,066,040	
<b>II 経常費用</b>				
<b>1. 事業費</b>				
<b>(1) 人件費</b>				
給料手当	0	0		
法定福利費	0	0		
福利厚生費	0	0		
<b>人件費計</b>	0	0		
<b>(2) その他経費</b>				
会議費	0	20,000		会議参加費
旅費交通費	158,470	979,600		講師旅費・参加旅費
消耗品費	0	245,000		被災者支援ほか
賃借料	4,978	75,000		サーバー代・会場費
通信費	0	38,000		携帯・郵送・宅配
印刷費	3,090	353,000		情報紙・チラシ印刷
保険料	0	0		
講師謝金	458,406	700,000		講師謝金
備品購入費	0	0		
雑費	2,376	315,000		被災者支援ほか
<b>その他経費計</b>	627,320	2,725,600		
<b>事業費計</b>			2,725,600	
<b>2. 管理費</b>				
<b>(1) (管理) 人件費</b>				
(管理) 役員報酬	0	0		
(管理) 給料手当	0	28,800		事務手当
(管理) 法定福利費	0	0		
(管理) 福利厚生費	0	0		
<b>(管理) 人件費計</b>	0	28,800		
<b>(2) (管理) その他経費</b>				
(管理) 会議費	0	5,000		総会費
(管理) 旅費交通費	0	0		
(管理) 消耗品費	5,440	10,000		インク、紙、封筒等
(管理) 賃借料	15,480	13,200		法人事務所家賃
(管理) 通信費	63,942	80,000		携帯・宅配・FAX
(管理) 印刷費	29,670	20,000		コピー代
(管理) 保険料	0	0		
(管理) 講師謝金	0	0		
(管理) 備品購入費	52,980	0		
(管理) 雑費	1,080	2,000		振込手数料
<b>(管理) その他経費計</b>	168,592	130,200		
<b>管理費計</b>			159,000	
<b>経常費用計</b>			2,884,600	
<b>当期経常増減額</b>			-1,818,560	
<b>III 経常外収益</b>				
<b>1. 雑収益</b>	3,000	0	0	
<b>経常外収益計</b>			0	
<b>IV 経常外費用</b>				
<b>1. 雑損益</b>	30,000	42,000	42,000	未収会費損金
<b>経常外費用計</b>			42,000	(資格喪失7名)
<b>当期正味財産増減額</b>	785,200		-1,860,560	
<b>前期繰越正味財産額</b>	5,126,998		5,912,198	
<b>次期繰越正味財産額</b>	5,912,198		4,051,638	

